

平成 26 年度第 1 回長洲・荒尾地域公共交通活性化協議会発言内容

<p>事務局長</p>	<p>定刻となりましたので、只今から協議会を開催したいと思います。</p> <p>本日の議事に入ります前に、まず資料のご確認をお願いします。</p> <p>事前に送付いたしました資料から確認したいと思います。本日の式次第が 1 枚、資料 1、2、3、4 が 1 部ずつでございます。続きまして、本日配布いたしました資料についてですが、配席図が 1 枚、委員名簿新旧交替表が 1 枚です。</p> <p>不足等ございませんでしょうか。</p> <p>それでは、只今から「平成 26 年度第 1 回長洲・荒尾地域公共交通活性化協議会」を開催します。</p> <p>まずは、委嘱状の交付を行います。本日お配りしております、委員名簿新旧交替表をご覧いただきよろしいでしょうか。今回、人事異動等に伴い、 <u>熊本県タクシー協会の吉田委員が片岡委員へ</u> <u>玉名地域振興局道路管理者の松永委員が光永委員へ、</u> <u>長洲町道路管理者であります建設課長の野村委員が濱村委員へ、</u> <u>九州運輸局熊本運輸支局の古川委員が松野委員へ</u> <u>同じく桑島委員が牛島委員へ</u> <u>そして熊本県荒尾警察署の芹川委員が木村委員へと、</u> 6 名の委員の方が変更となっておりますので、ご報告いたします。</p> <p>本日は、出席されております 5 名の委員の皆様の中逸博光町長より委嘱状の交付を行います。よろしくをお願いします。</p>
<p>【委嘱状交付】</p>	
	<p>それでは、中逸町長より挨拶を申し上げます。</p>
<p>【町長挨拶】</p>	
<p>事務局長</p>	<p>それでは、議事に移ってまいります。本日は、 荒尾市 副市長の山崎委員、 有限会社有明観光タクシーの吉田委員、 全九州産業交通労働組合の貢委員 地域代表（清里校区）の竹下委員、 以上 3 名の委員が所用のため欠席でございますが、本協議会設置規約第 7 条に基づき、代理の出席を含めた過半数のご出席がありますので、本日の協議会が成立しますことをご報告いたします。</p> <p>それでは、次第 3、会長挨拶を竹本会長よりお願いします。</p>
<p>【会長挨拶】</p>	

事務局長	<p>それでは、これからの進行につきましては、本協議会設置規約に基づき会長よりお願いします。</p>
会 長	<p>それでは、本日は平成 25 年度決算と生活交通ネットワーク計画についてご審議いただくこととなりますが、協議に入ります前に、まずは平成 23 年から運行を開始し、3 年目となります長洲町予約型乗合タクシー「きんぎょタクシー」の平成 25 年度における運行状況を事務局より説明いたします。</p>
<p>【きんぎょタクシーの運行状況について 説明】</p> <p>・資料 1ー きんぎょタクシーの運行状況について</p>	
会 長	<p>只今事務局より、きんぎょタクシーの運行状況につきまして説明がございましたが、ここで中身につきましてご質問等、委員の皆様からございませんでしょうか。</p>
委 員	<p>車体にステップを付けてもらい、利用者の皆さん大変喜んでおられます。それと、(同乗している時)初めて乗る方から「どこで停まるのか」「料金はいくらか」と尋ねられたことがあります。車内に皆さんが見えるように掲示をしてはどうでしょうか。</p>
事務局	<p>ご意見ありがとうございます。乗られた方にわかるように表示します。</p>
会 長	<p>ホームページなどには掲載していますが、利用は年配の方も多いため、いろいろな手段をもって情報を提供するように事務局で取り組みます。運行状況については、前回の会議でもご報告させていただきましたが、利用状況、乗降場所大きな傾向としてはこれまでと変わらないと把握しています。</p>
会 長	<p>他にございませんか。無いようでしたら、協議に入っていきたいと思えます。議案第 1 号 平成 25 年度長洲・荒尾地域公共交通活性化協議会の決算について、事務局より説明いたします。</p>
<p>【議案第 1 号 説明】</p> <p>・資料 2、3 平成 25 年度長洲・荒尾地域公共交通活性化協議会の決算について</p>	
	<p>只今、議案第 1 号、平成 25 年度長洲・荒尾地域公共交通活性化協議会の決算について説明が終了しましたが、ここで、監査報告を監査委員であります濱村委員にお願いしたいと思えます。</p>
<p>【監査報告】</p>	
会 長	<p>濱村委員ありがとうございました。</p> <p>それでは、議案第 1 号「平成 25 年度長洲・荒尾地域公共交通活性化協議会の決算について」委員の皆さんから質疑等ございませんでしょうか。</p> <p>【質問・異議なし】</p> <p>無いようでございますので、ご承認いただけるようであれば、拍手でお願いいたします。</p> <p>【拍手・承認】</p>

	<p>ありがとうございます。</p> <p>それでは、続きまして議案第2号「生活交通ネットワーク計画認定申請の提出について」事務局より説明をお願いします。</p>
<p>【議案第2号 説明】</p> <p>・資料4 生活交通ネットワーク計画認定申請の提出について</p>	
会 長	<p>只今、議案第2号「生活交通ネットワーク計画認定申請の提出について」事務局より説明がございました。</p> <p>この件に関しまして、委員の皆さんから意見等ございませんでしょうか。</p> <p>【質問・異議なし】</p> <p>無いようでございますので、ご承認いただけるようであれば、拍手でお願いいたします。</p> <p>【拍手・承認】</p> <p>ありがとうございます。それではこちらの内容で、申請を提出します。</p>
会 長	<p>次第6のその他へ進みたいと思いますが、委員の皆さんから何かございませんでしょうか。本日の議案に限らず、あらゆる面からご意見をお願いしたいと思っております。</p>
委 員	<p>ここ最近の協議会では、安定した運行を報告してもらっていますが、そろそろ次のことを考えてもいいかと思えます。可能であれば事務局より今後の展望についてどのように考えたらいいかというたたき台を次回の協議会にでも示してもらって、皆さんのご意見を集めてはどうかと思えます。</p>
委 員	<p>タクシーの利用者が半数ぐらいに減っています。病院やホテルなどもマイクロバスなどをもちはじめ、タクシー業界が生き残っていくためには一般の乗客しかない中で、こういった形で町が運行しています。この協議会は、地域事業者を活性化させるための協議会ではないですか。荒尾市のように一部の地域での運行ならわかりますが、長洲町では全域の運行ため、タクシーは必要なくなってきました。JRの特急もなくなったため厳しい状況です。われわれ事業者のことも考えていただきたいと思えます。</p>
会 長	<p>先程のご意見と合わせて、事務局には今後のあり方等についてまとめていてもらいたいと思えます。</p>
委 員	<p>様々な地域の問題点を浮かび上がらせて、事業者が関与できるようなしくみも検討いただきたいと思えますが、タクシーが必要でなくなるようなことはないと思えます。「きんぎょタクシー」は土日も、朝夜も走っていませんし、緊急時にはやはりタクシーを選ばれると思えます。この事業が始まる時点でも、タクシー業者さんの展望が明るかったかというところでもないように感じます。</p>

	<p>皆さんがうまくいくようにたたき台をだしていただいて、その中に参入されてはどうでしょうか。</p>
委員	<p>きんぎょタクシーが運行する前、タクシーを利用されていたのは70代、80代の、病院に行かれる方ですか。</p>
委員	<p>そうですね。</p>
委員	<p>病院代よりもタクシー代の方がかかるということで考えられた運行でしょうけども、どちらも考えなければいけないですね。</p>
委員	<p>取組みについては、地元が望む運行をされているのだろーと思っておりますが、協議会の委員にタクシー事業所が3社入られている中で、運行委託が1社ということはどういうようにして事業所を選定されたのですか。</p>
事務局	<p>運行をスタートするにあたりましては、運輸局等への手続きもありますので、平成23年3月の時点で、町内3社の事業所に直接出向き、お話をさせていただいております。その中で5月に最終決定を行い、長洲タクシーさん1社に決定しました。その後、長洲タクシーさんには乗合タクシーの資格の取得や、様々な手続きをしていただき、運行を開始いたしました。事業所さんには十分お話をさせていただき、決定しております。</p>
委員	<p>このたびご利用のお客様からのステップ取付けのご要望に伴い、車両を購入するにあたり、熊本運輸支局、タクシー協会には指導・協力をいただきましたことをこの場をお借りしてお礼申し上げます。</p>
事務局	<p>先般の議会で公共交通に関して質問があり、長洲町の玄関である「JR長洲駅」「長洲港」でもっと長洲町をPRしてはどうかということがありました。具体的には、電車の発車ベルを、例えば金魚のふれ売り師の声にしてはどうかということでありましたが、JRさんからは「システム上、変更できない」という回答をいただいております。町としては、長洲駅にある大きな金魚のオブジェから音楽を流すなどできないかと考えているところです。有明フェリーでも長洲町の音楽が流せないかというご意見もいただいておりますので、あわせて今後お話をさせていただきたいと思っております。</p> <p>また、駅のバリアフリー化についても質問が出ておりますが、莫大な費用がかかり、国の支援、JRや町の財政負担もありますのでなかなか厳しいということでお話しています。ただ、そのような声があるということは認識しております。この場でご報告をさせていただきます。</p>
会長	<p>では、委員の皆さんから一言ずつお願いします。</p>
委員	<p>夏休み期間中、小学生限定の定期券「キッズパス」を1,000円で販売しています。全バス事業者共通で県内で使えますので、周知いただければと思います。また、先程フィーダー系統の話がありましたが、きんぎょタクシーでバス停までいただければ玉名や荒尾にも行けますので活用していただけたらと思います。</p>

委員	町内の各交通事業者がうまく連携して、活性化していけたらと思います。
委員	先程の話になりますが、乗合タクシーの運行が開始される際、確かに町から話がありました。しかし示された提案内容では、タクシー業者は潰れるのではないかと思ったので辞退しました。タクシー業者を主体としたやり方を検討してほしいと思います。
委員	今ありましたご意見につきましては、タクシー業界もなんとか地域の方の足になれるよう頑張ってきておりますので、実情もあわせてご検討いただければと思います。
委員	高齢者の事故が増えてきています。私たちは、高齢者の方が免許更新をされる際に返納をおすすめしますが「(免許を返せば)足がない」と言われます。免許を返しても足が確保できるような手段と、免許を返せばメリットがあるようなことを公共交通機関と連携できないか考えております。玉名警察署ではちょっとした特典を付けたところ、自主返納が増えたと聞いておりますので、取り組みたいと考えております。
委員	地域力を高めるために、今後活性化していくために課題、問題点に対してどのような策をとっていくか、考えていくことに関与できればと思います。
委員	荒尾市の協議会でも、市が運行を始めた乗合タクシーによって管轄するタクシー利用者が減ったとの声があっておりました。
委員	きんぎょタクシーの利便性により利用者の増加につながっていると思いますが、利用者と事業者の両面から検討が必要かと感じます。
委員	皆さんからのご意見を取りまとめ、事務局共々検討していきたいと思います。
委員	<p>熊本県のバス協会でもICカードの導入について、今回の同補助金を申請したばかりです。ちなみに現在、平成26年3月末で熊本県のバス事業者は非会員も含めて65社あり、そのうち7社が乗合事業を行っています。輸送人員は苦しい状況を余儀なくされており、ここ5年を見ても平成20年度で4,080万人、平成24年度で3,650万人まで減少しています。最も、輸送人員が多かったのは昭和44年で、1億2,000万人の方が利用されておりました。それがこのように減少しているわけです。しかし、車両数は1,052両、運行系統は756系統とはほとんど減っていないのが現状です。乗降者数が減っているのに、系統も整理を行っていませんが、ほとんどが赤字系統で苦勞しています。</p> <p>きんぎょタクシーは、路線バスが運行している幹線まで運んでいただき、そこからは路線バスがお客さんを運ぶという形になっています。九州運輸局のホームページに県内のフィーダー系統のことが掲載されており、長洲町の制度も乗っておりますので、ぜひ皆さんにもご覧いただけたらと思います。</p>
委員	活性化は地域を元気にすることだと考えます。企業誘致や定住人口の拡大、観光振興など、長期的に取り組んでいくことが必要だと思います。その中で重要なことは「おもてなし」だと思っています。町内の方、町外の方に向けたそれぞれ

	<p>のおもてなしがあると思いますし、JRやバス、タクシーなどそれぞれが「おもてなし」の気持ちを持って取り組んでいくことが、利用や町への訪問につながるのではないかと個人的には考えます。</p>
委員	<p>交通事業者として、今後も安全運転、運行に努めていきたいと思います。</p>
委員	<p>フィーダー系統の説明の中では「桜山経由玉名合同庁舎・荒尾線」が申請の中にありましたが、現在町内を走っている玉名まで行くバス路線がなくなるということではないんですよね。</p>
事務局	<p>「桜山経由玉名合同庁舎・荒尾線」は、あくまでも今回補助金の申請にあたり、接続するバス路線であるということだけですので、現在の町内を走っているバス路線が無くなるといったことはありません。</p>
委員	<p>使っていたバスの時刻も変わったため、現在きんぎょタクシーを利用しています。大変役に立っており、このきんぎょタクシーが持続されるといいなと思っています。その一方で、先程タクシー事業者さんからのお話があったように、そちらの方も考えながら公共交通の活性化がより良い方向にいけばいいと考えます。</p>
委員	<p>PRのお話も出ましたが、マスコットキャラクターのふれきんちゃんがついたきんぎょタクシーを荒尾に行った時なども見かけます。走っているだけで十分なPRになっていると思います。</p>
委員	<p>私もきんぎょタクシーを週に2~3回利用しています。乗っていると、長洲町のいろいろなところを通ります。先ほど「おもてなし」の重要性の話がありましたが、「今どこを走っている」など運転手さんから伝えてもらえたらありがたいなと思います。</p>
委員	<p>きんぎょタクシーがシティモールに行っているということで、商工会としては考えるところもありますが、皆さんのニーズがそこにあるということですので、私たちも企業努力をしなければならないと思います。</p>
委員	<p>今回ご審議いただきましたネットワーク計画は、地域公共交通活性化再生法に基づく申請ということになっております。本法律は今年の5月に改正をして、10月以降の施行となりますが、もともと疲弊した公共交通を活性化しようということ平成19年に公布された法律です。今回の改正では、まちづくりのハード面などの視点を入れて、街そのものを活気あるものにしようという視点で今回改正がなされています。</p> <p>おもてなしやPRに対するご意見も多くありましたが、こちらの長洲町でも「創り・守り・育てる」という目標を掲げておられますので、広報は利用者の増加といった点で大切なことでありますし、おもてなしはJR・フェリーへの乗継の結集地点ということで広域的な連携もあるかと思えます。町の魅力を伝えながら、交流人口を増やすための場所づくりという視点を持って、交通関係の部署だけでなく建設関係の部署とも連携して考えていただきたいと思えます。</p> <p>また、商工会の話もありましたが、域内での交流人口と商工の活性化という部</p>

	<p>分もありますので、経産省の補助など多様な補助を活用しながら、町の中の人の動きを作り、外に発信をしていただいて魅力ある長洲町として売り込んでいただきたいと思います。</p> <p>観光といった部分でも町以外からの交流人口が増えてくれば、それを担うタクシー事業はこれからも必要でありますので、いろいろなことに取り組んでいただいて、皆さんで議論をしていただくことが大切だと思います。そして、それを支援することが法律改正の目的であり、国の役割でもあります。皆さんで知恵を出し合っていたきたいですし、それに応えられるような支援を私たちも行っていきたいと考えています。</p>
委員	<p>公共交通はどこも右肩下がりで厳しい部分ではありますが、きんぎょタクシーについては利用状況を見る限り、すごいと思います。県としても陸・海・空について支援等も考えていきたいと思っていますので、よろしくお願いします。</p>
委員	<p>荒尾市でも昨年 10 月から乗合タクシーの運行を始めましたが、きんぎょタクシーの利用者の多さに驚いています。荒尾市では、バス路線が利用しづらい、家からバス停が遠いなどといった、他地域と交通事情があまりにも違う一部地域で乗合事業を始めました。市内 5 事業者の共同運行となっています。公平性の観点や共倒れを防ぐという意味もありますが、最終的には事業者の方からも「地域貢献」という言葉をいただき、現状の運行体制をとっています。</p>
委員	<p>きんぎょタクシーは皆さんおっしゃっていただくように順調な運行で嬉しく思います。昨年度の会議では、「運転手の接客マナー」や「高齢者の使い勝手が悪い」などと苦言を呈しましたが、ステップの導入など企業努力をしていただいて、最近は「使い勝手がよくて助かっている」という声が多いような気がします。なので、きんぎょタクシーはよかったなと思っていましたが、先程のタクシー事業者さんのお話もありましたように、町の活性化という意味では共存共栄して町を繁栄させていけないといけないので、事務局の役割はまたこれから大きくなるように思います。</p>
会長	<p>他にはありませんか。貴重な意見をありがとうございました。町の活性化という本来の目的に立ち返って、総合的に検討いたしまして、今後の展望について事務局の方から提言できるようにお願いします。</p>
事務局	<p>本日はいろいろとご意見をいただきありがとうございました。「次のことを考える必要があるのでは」といったことでは、高齢者の免許自主返納への対応や、町内で買い物してもらえるように商業との連携（割引制度）など、私たちも考えている部分ではあります。その中で、ご意見をいただけたことはありがたく思っております。これらを踏まえて、次回の会議に示していけたらと思います。</p>
会長	<p>無いようでしたら、これで、平成 26 年度第 1 回の協議会を終了したいと思います。皆様、お疲れ様でした。</p>